

令和2年度第1回

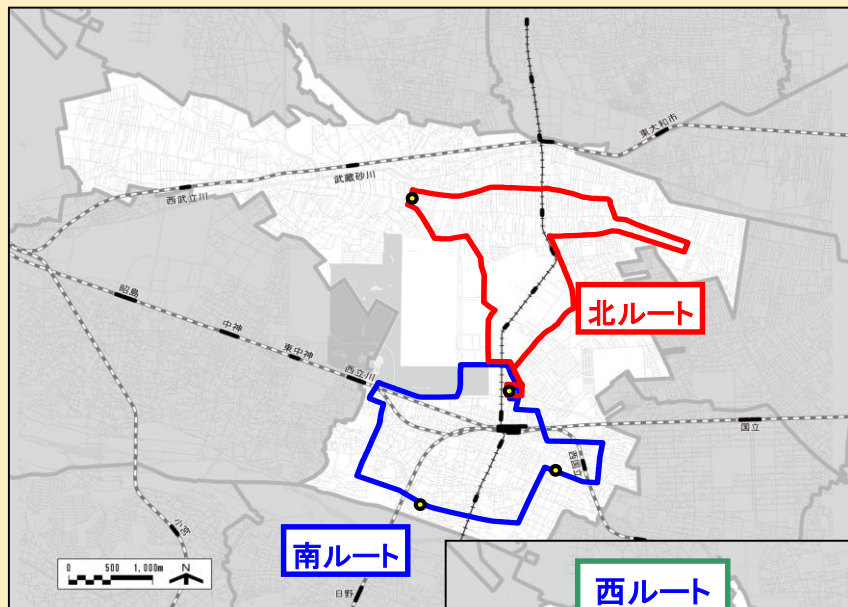
地域公共交通会議



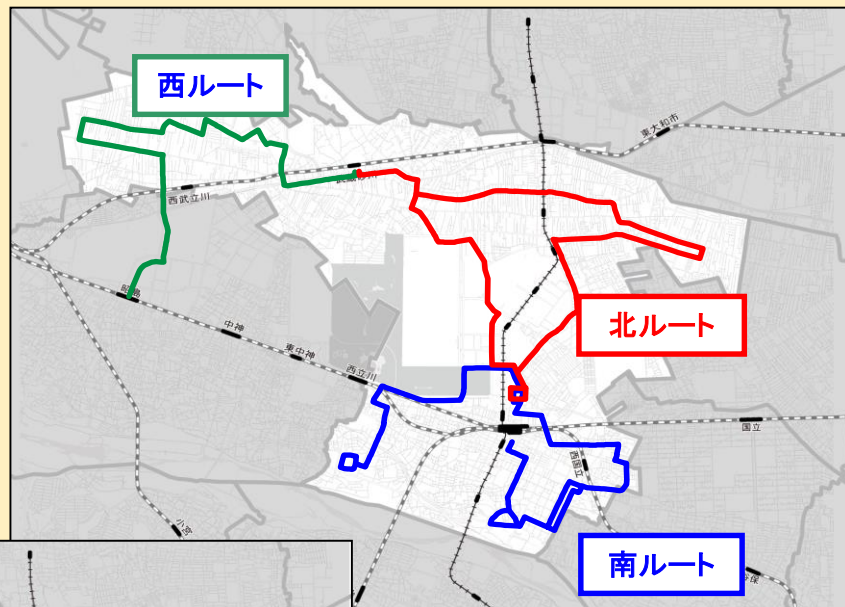
令和2年9月3日

立川市まちづくり部交通対策課

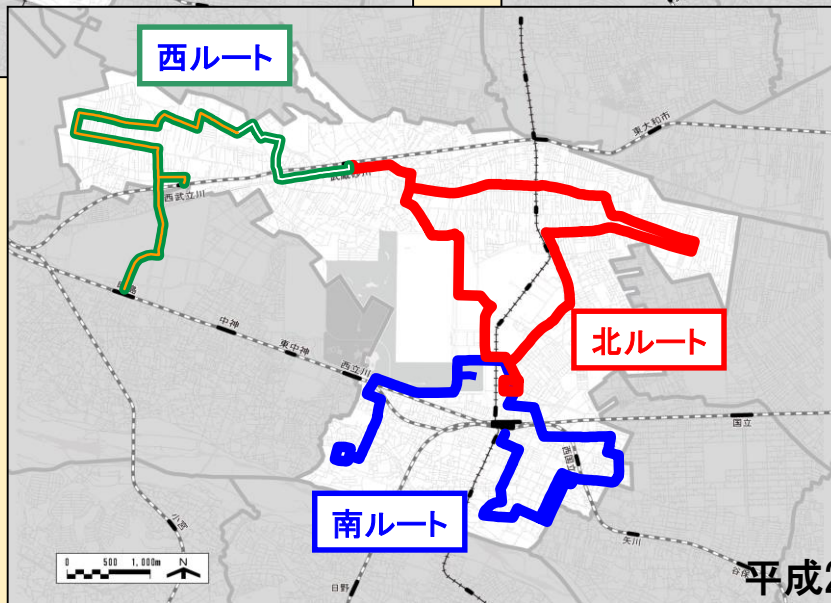
くるりんバスの再編(再編までのルート)



平成14年 運行開始



平成17年 西ルート新設



平成24年 西ルートの東西分離²

くるりんバス運行の経過 (平成28年度再編まで)

平成14年12月　くるりんバス運行開始(2ルート:北ルート、南ルート)

平成17年12月　西ルート新設(3ルート:北ルート、南ルート、西ルート)

平成24年 7月　西ルート分化(4ルート:北ルート、南ルート、西西ルート、西東ルート)



利便性向上のために経費増加、一方で運賃は100円据え置きだったため、収入がほぼ横ばいとなり、財政支出は年々増加



平成28年 9月　くるりんバス再編
・5ルート:西砂ルート、一番ルート、砂川ルート、曙ルート、錦ルート
・運賃改定:100円 → 大人180円、小人90円

くるりんバスの再編(運行コンセプト)

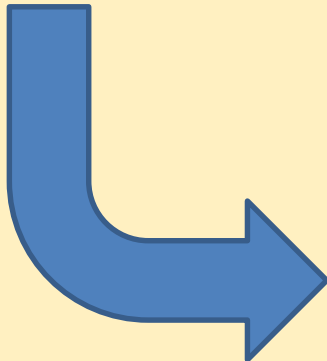
平成28年3月 立川市コミュニティバス(くるりんバス)再編計画策定

運行ルート等の再編に向けて

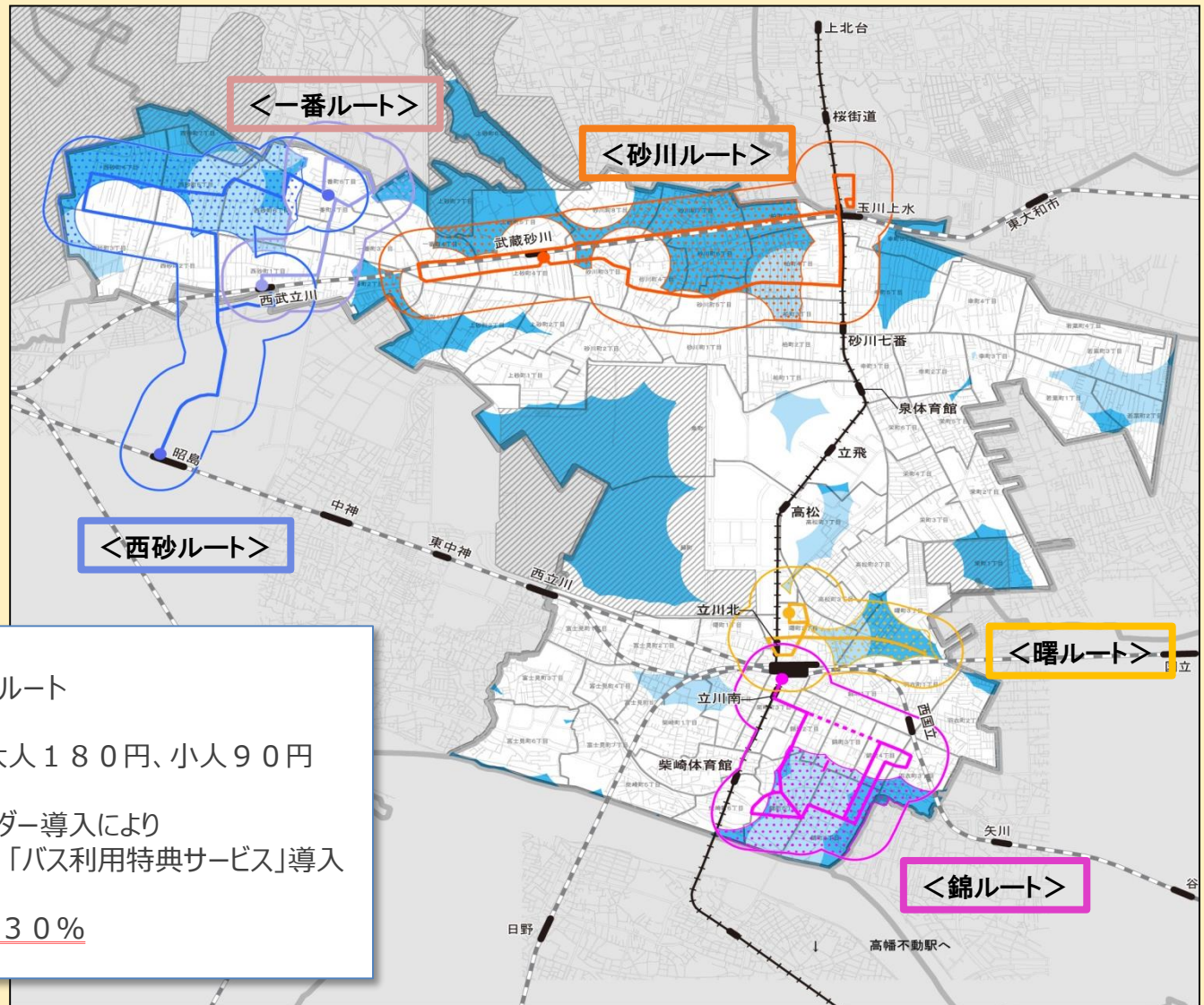
- 方針1 路線バスの補完
- 方針2 市民生活密着施設へのアクセス
- 方針3 交通不便地域の利便性向上

持続性の確保に向けて

方針4 持続性の確保

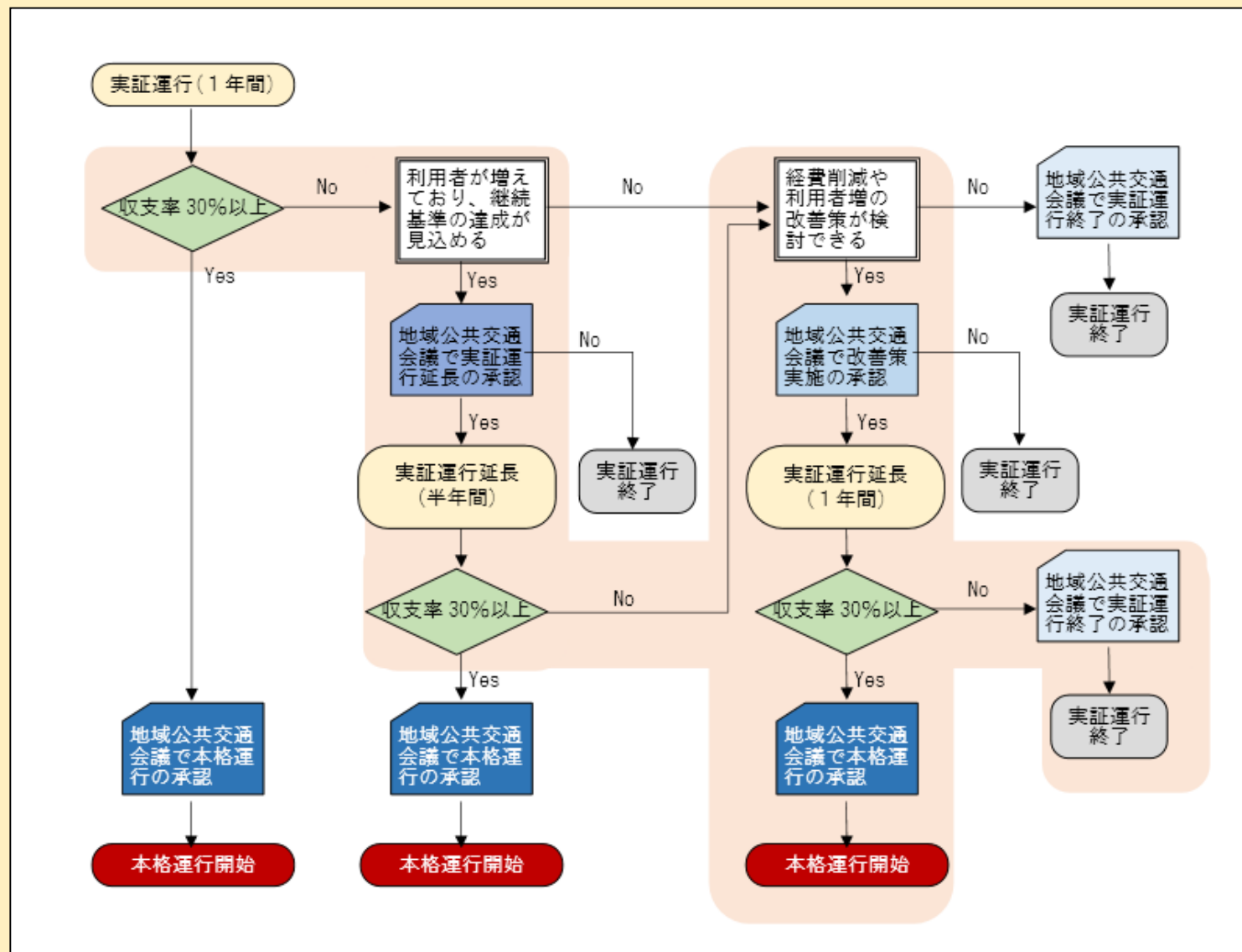
- 
- 路線バスとコミュニティバスとの役割の明確化
 - 既存の路線バスや鉄道、モノレールでカバーできない移動を補完
 - 路線バスとのルート・運賃の競合を回避
料金：100円 ⇒ 大人180円、小人90円
 - 移動需要を踏まえたダイヤ設定（平日・土休日）
 - データに基づく事業の定期的な点検
 - 運行継続基準：収支率30%

くるりんバスの再編(ルート)



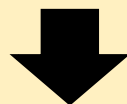
- ルート：4ルート ⇒ 5ルート
- 料金：100円 ⇒ 大人180円、小人90円
- その他変更点：ICレコーダー導入により
「バス利用特典サービス」導入
- 運行継続基準：収支率30%

くるりんバスの再編(運行継続基準)

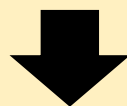


くるりんバス運行の経過 (平成28年度再編以降)

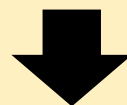
平成30年3月 一番ルート、砂川ルート、曙ルートの改善運行開始



一番ルート、砂川ルート、曙ルート : 実証運行終了

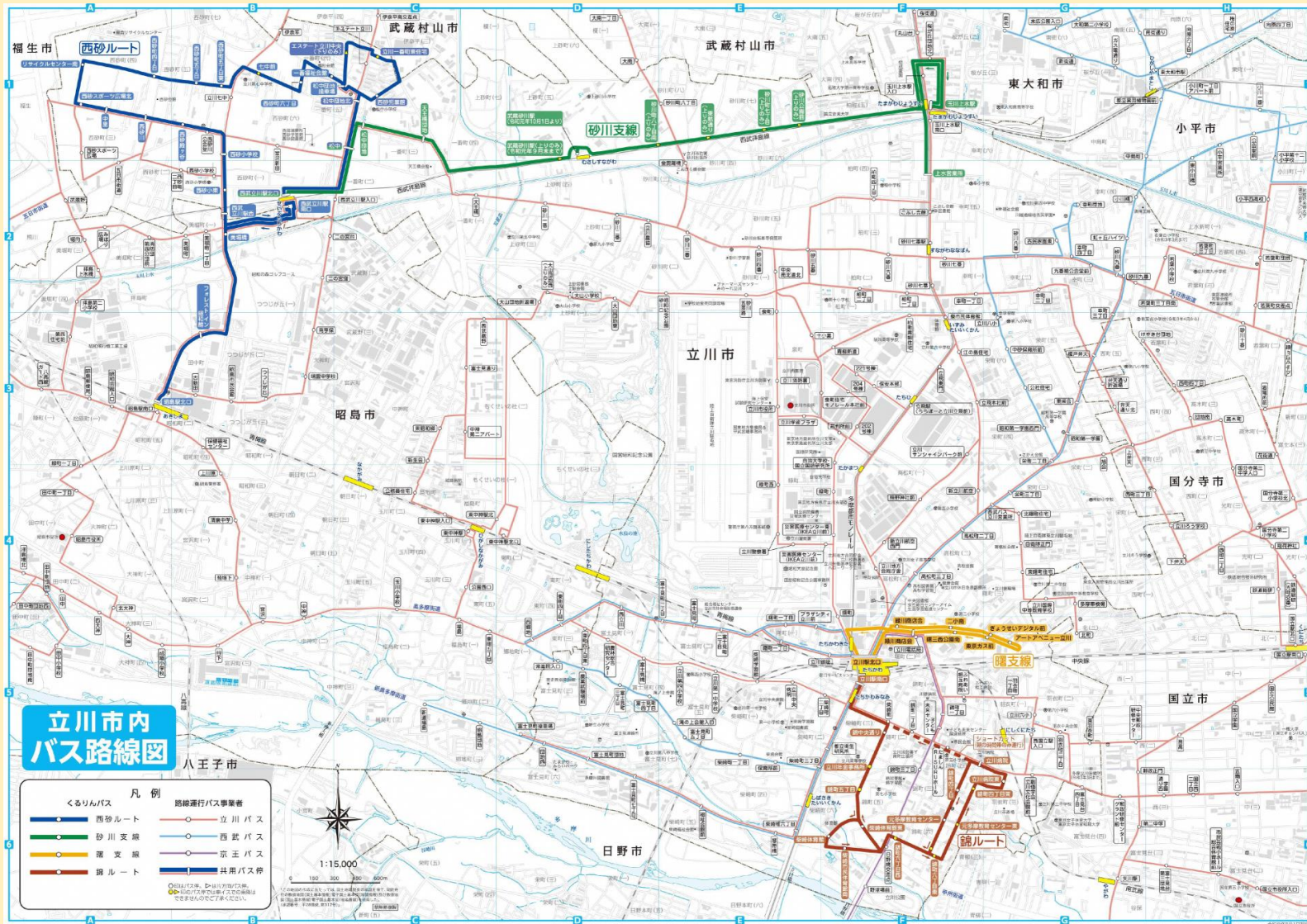


令和元年8月 再編により、2ルート(西砂ルート、錦ルート)、2支線(砂川支線、曙支線)



令和2年7月末で実証運行期間終了 → 検証へ

くるりんバスの再編(令和元年度再編)



令和元年度再編(運行継続基準)

「ルートごとの検証」から「全体での検証」へ

